



2020-2021 年度
4月号
NO. 379

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

**LT
RBM**

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題:「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ソコポール) 主題:「変化をもたらそう」
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題:「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題:「持続可能な未来を創ろう」

4月例会

と き 2021年4月8日(木)
18:30~20:30
※ZOOMによる例会

強調月間

RBM: Roll Back Malaria

世界的規模のマラリア撲滅キャンペーン。4月25日は世界マラリアデーです。ワイズ国際協会ではマラリア撲滅のための国際的枠組に参加して撲滅に向けて取り組んでいます。

LT: Leadership Training

会員のリーダーシップ開発、向上を目的に行う研修。東日本区では、区主催の部役員、クラブ役員研修を企画、実施をしている。

関東東部 EMC を考える集い

3月28日(日)、関東東部独自の会員増強運動として、「EMC を考える集い」が15時よりZOOMにて行われた。副題をE:笑顔で、M:もっと、C:クラブ活動を！として、部全体で会員増強活動を考えようと開催された。開始前から次々と参加者が増え開会時には50名(部外10名)が集った。(ひがし出席者：金丸、須田、高野、竹内)

布上書記の司会で進められ、各挨拶と出席者紹介で開会セレモニーが終了。続いて会員増強と新クラブ設立に分け、コーディネーターより各パネラーへのインタビュー方式で進行され、各氏より会員増強とワイズ活動について述べられた。これからのEMC活動に繋がる集いであった。

★会員増強(コーディネーター：大澤和子)

多くの新会員を紹介した⇒堀江和広氏(東京ハイト)
最近入会し積極的に行動する⇒柳井 恵氏(千葉)
元気に交流⇒樋口順英氏(東京グリーン)

★新クラブ設立(コーディネーター：長尾昌夫)

千葉ハイトクラブ 設立⇒高田一彦氏(千葉ハイト)
新クラブ設立の鼓動⇒宮田康男氏(茨城)
新クラブ設立に向けて⇒金丸満雄氏(東京ひがし)



🕊 今月の聖句 🕊

『兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。』

—ローマ人への手紙第12章9節—

3月例会

出席者 8名 ゲスト 名
会員出席数 8名
在籍数 15名
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 57%

スマイル

11月 8,000円
累計 35,000円

2020-2021 年度役員

会長 須田哲史
副会長 高野真治
書記 金丸満雄
会計 千代一郎
担当主事 沖 利柯

3月例会 (zoom)

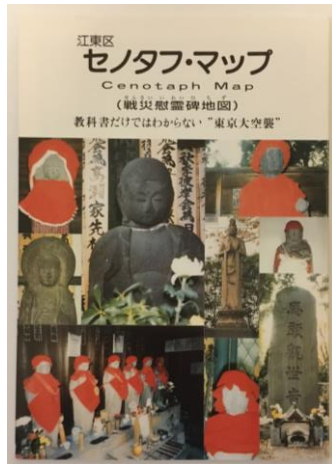
3月11日、3月ZOOM例会は18時30分開会した。今年もコロナ感染防止のため、ピースウォークは昨年に続き中止となったので、例会で「セノタフマップ」の編集の思い出話を、野澤さんと野本さんに語っていただいた。

「1990年、東陽町YMCAでは平和について理解をしてもらおうと第一回ピースコンサートが開かれました。コンサートが4年目となったとき、鮎澤会長の時でしたが、江東区内には東京大空襲で亡くなられた方が、3万2千人ほど居られた事と、その方々を慰霊するために、各町会や各団体が建立した慰霊碑をまとめてみよう、と、例会に於いて決定されました。編集等の担当者としては野本さんを始め昭和12年生まれの三人組（鈴木、吉澤、野澤）が推薦されました。

本の題名をセノタフ・マップとし、「教科書ではわからない東京大空襲」との副題をつけて地図と慰霊碑をまとめて出来上がったのは約1年後でした。」ほかに、慰霊碑の由来と写真は、クラブメンバーが手分けして携わった事など、編集思い出話が語られた。

セノタフマップのあとがきに、「・・・当時の悲しみの中に平和への願いを込めて建立に尽力された方々の多くは、故人となられましたが、その願いは今でも地域の方々に引き継がれて慰霊碑は大切に守られています。私たちは、多くの方々に実際に慰霊碑を訪ね平和への呼びかけに耳を傾けていただきたく、ガイドブックとして、この小冊子を作りました。」と、平和への願いが込められています。

セノタフの意味は、遺体が実際に埋葬されていない空墓（慰霊碑）のこと。このセノタフマップは、江東区内の戦災慰霊碑地図として、教科書だけではわからない「東京大空襲」を語り継ぐ意味で作られました。この先達の平和への願いを引き継ぎ、二度と繰り返してはならない悲惨な出来事を語り継ぐ、ピースウォークを私たちはこれからも続けます。



★今月の誕生日

高野たづ子メット (2日)

★今月の結婚記念日

沖 利柯・ 明 夫妻(29日)

高野真治・たづ子夫妻(27日)



担当主事 沖 利柯

▼東日本大震災 10周年記念礼拝

3月6日に東日本大震災 10周年記念礼拝がオンラインで開催され、会員、賛助会員、職員など43名が出席しました。黙祷に続き飯岡洋介氏（成増キリスト教会牧師）にメッセージをいただいた後、元YMCA石巻支援センター駐在職員の伊藤剛士氏より、これまでに東京YMCAが行ってきた支援活動について報告がありました。また福島の子を対象とした「リフレッシュキャンプ」にボランティアとして参加した三菱商事株式会社社員から、キャンプの所感が共有されました。なお、3月1日～6日の日程で、東陽町センターにて「東日本大震災 10周年福島パネル展」も開催されました。

▼日中韓平和フォーラム

3月6日、「第8回日中韓平和フォーラム」がオンラインで開催され、三カ国から計91名、東京YMCAからも2名の職員が参加しました。第1部では「はなれていても、つながっている」のテーマのもと、基調講演、各国レポート、平和活動の情報共有を行い、第2部ではユースとシニアに分れてセッションが持たれました。コロナ禍における北東アジアの平和構築に向けて課題が共有され、交流を深めました。

▼liby チャリティーコンサート

3月14日、「第22回libyチャリティーコンサート」が山手センターを会場に開催され、越智光輝氏（クラリネット）、門倉美香氏（ピアノ）、田口裕氏（チェロ）がベートーヴェンを中心とする器楽曲を演奏し、好評でした。新型コロナウイルス感染防止対応として、会場は人数を限定し、オンラインでも配信を行いました。開催にあたり、三菱商事株式会社に協賛を、株式会社バトンプロダクツに撮影協力と後援をいただいた他、東京たんぼぼYサービスクラブや多くのボランティアにも運営に協力をいただきました。

▼第4回パントリー開催

4月29日に第4回パントリーを開催致します。今回はニーズが高いため対象を50家族に増やしました。仕分け作業は28日(水)13時からYMCAホールで行う予定です。お時間の許す方、是非作業にご協力をお願いいたします。また、物品寄付もどうぞよろしくお願いいたします。

▼東陽町センター厨房

厨房のドレインカバーが見違えるよう美しくなりました。飯田さんに手配をいただき、金丸さんがペンキで仕上げを行っていただきました。ドレインカバーだけがピッカピカになりました。

また、わくわくビレッジよりいただきYMCAホールの椅子も高圧洗浄機で綺麗に生まれ変わる予定です。作業日にはお声をおかけしますので、よろしくお願いいたします。